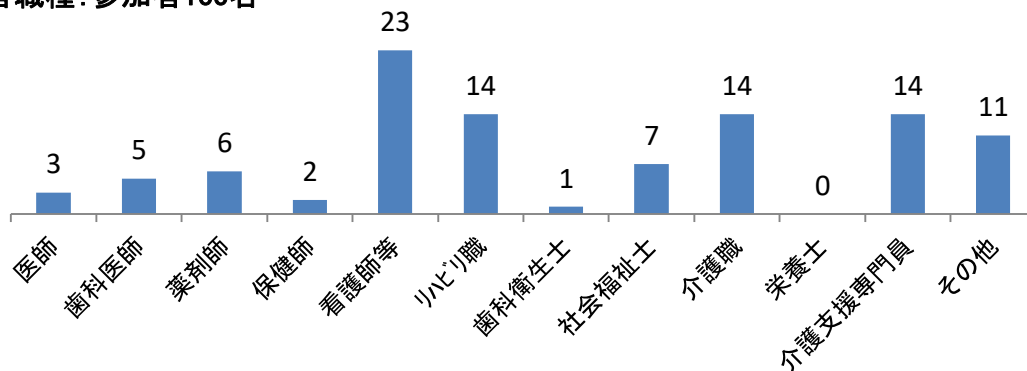


# 「島原市在宅医療・介護連携セミナー」アンケート

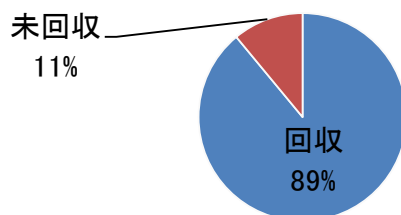
令和元年8月7日開催

## 参加者職種：参加者100名

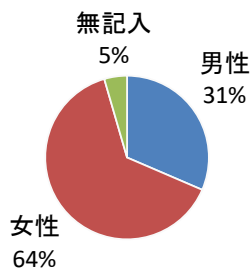


## アンケート回収率

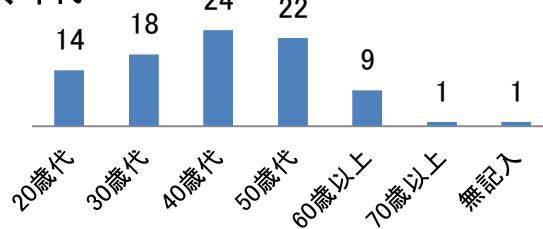
回収 89枚  
未回収 11枚



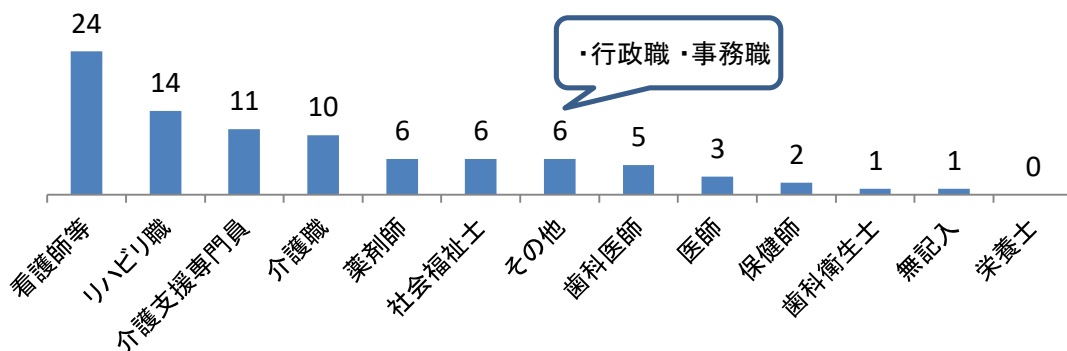
## 1.性別



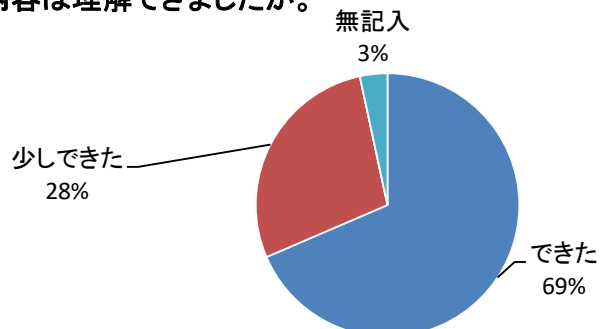
## 2.年代



## 3.現在従事している主となる職種



## 4.本日の講演の内容は理解できましたか。

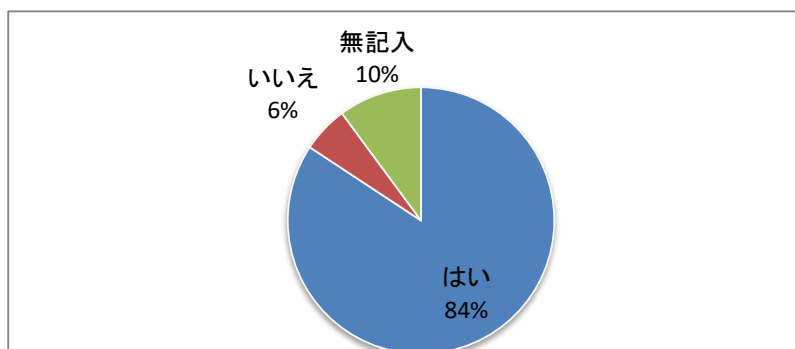


**講演を聞いての感想をご記入ください。**

- ① ACPについてより深く理解することができました。簡単な事ではないが、まずは自分から考えていこうと思います。
- ② 具体的に質問の仕方や、考え方がよく理解することができた。
- ③ 例をあげて話をしてくださったので良くわかりやすかったです。
- ④ ACPについてわからなかったことが少し理解できたように思う。
- ⑤ はじめて聞きました。ACPでもよくわかったように思います。
- ⑥ 細かくていねいなACPの進め方を具体的に教えていただきとても参考になりました。
- ⑦ ACPについて全く知識がなかったので大変勉強になりました。身内から話し合う時間を作っていこうと思います。
- ⑧ 自分はという最期をむかえたいか考える機会となりました。
- ⑨ 分かりやすく話して下さりありがとうございました。理解できましたがむずかしいですよね？自分も両親もとりましたが義母のみ話し合いをしました。実母は話をするのもこわかった。思い出されました。
- ⑩ 家族、自分の死についていかに考えていないかふり返りになりました。
- ⑪ 人生会議の必要性を痛感しました。人生の最後を考える機会は少なく、ふわっとしたものでしたが、すぐリアルに感じることができました。
- ⑫ 自分の最期や家族の最期を考えることはとても大切なことだと改めて感じた。
- ⑬ 早い段階、元気な頃から話し合いが必要だと思った。一回ではなく何回でも。
- ⑭ ACPについてどういうものか知ることができた。自分自身や身内の間でも行っておくことが大切だと思った。
- ⑮ さっそく、家族と話をしないとと思いました。自分で思い考えているだけではいけないと再確認しました。
- ⑯ 今後について家族と話し合う機会が必要だと感じました。
- ⑰ ターミナルケアでは、対象者の終末期として、対象者の意見を尊重しつつ言葉使いに注意することが大切であると学びました。
- ⑱ 医療人としての考えだけでなくさまざまな考えがあることに気付かされた。
- ⑲ 本人の意思を確認するまでのプロセスや言葉かけを学ぶことができました。終活ノートを共有できるような仕組みを作り行っていきたいと思います。
- ⑳ 緩和ケアについての知識を学習出来ました。今後活かしていければと思います。
- ㉑ もしもの時の、家族への延命は望むが自分はいい。という人が多い家族を含め、自分自身の意向も考えて生きたいと思った。
- ㉒ 今まさに終末期の緩和ケア状態である家族がいて、これからどうすればいいのか何か参考になる事が少しでもあればとこの講演を受講させて頂きました。身につまされる内容に泣きそうになりましたがこれからの事や自分の将来の事に対しての生き方、考え方にひとつの指針が出来ました。前向きに考えます。ありがとうございました。
- ㉓ 本人、家族と面談する際の参考になりました。ありがとうございました。
- ㉔ 満岡先生のお話しは、参考になりました。ACPについて、深く考える事ができました。
- ㉕ 早いうちに自分の思いや意志を家族へ伝えたり話し合いをしておく必要性を感じた。
- ㉖ もっと今後のことを家族と話し合わないといけないと思った。
- ㉗ 終末期のことをわがこととして、考えてみたいと思いました。
- ㉘ もしもの時、どうするか家族で話してみようと思います。
- ㉙ 家族とリビングウィルについて詳しく話してみようと思います。
- ㉚ 自分や家族の最期を元気なうちから考えておかなければいけないと思いました。

- ③① 「死ぬまでの時間をどうすごすか」をもう一度考えてみたい。
- ③② 自分もリビングウィルを作成し、家族とも意思を確認できるようにしたい。
- ③③ 家族で話し合いをしてみようと思った。
- ③④ 改めて患者さん、家族と話をしようと思った。
- ③⑤ ACPについて家族と話し合っておくことが必要だと思いました。
- ③⑥ 人生の最期については縁起でもないことというイメージから話題にすることはタブーだと思っていたが、縁起でもないことこそしっかり話し合う必要があると感じた。
- ③⑦ 「人生会議」ACPを家族会議して家族の意識を高めておく事が重要だと思う。
- ③⑧ 専門職として利用者にACPについて説明するより前にまず、自分自身が自身のことや家族のことについて、どうしていきたいと考えているかを話し合うことが大事になると思った。
- ③⑨ ACPについぼんやりとあった知識や思いが、明確になりました。在宅看取り時、本人あるいは家族の方とどうすごしたいかを話す中で変化する思いを感じることがあります。きちんと向き合い支援できるよう感じる力、寄り添う力、コミュニケーション力を高めたいと改めて思いました。
- ④⑩ アドバンスケアプランニングはゆっくり時間をかけて、じっくり話し合いが必要で単にどう死にたいかということだけではないと感じました。
- ④⑪ 具体例もあり、わかりやすかった。
- ④⑫ 直接関係のある業種ではないのですが、大変興味深くきかせて頂きました。
- ④⑬ とても勉強になりました。
- ④⑭ 正解がなく難しいなと感じた。
- ④⑮ 考え続けていくことが大事なんだと思いました。
- ④⑯ 自分や家族もいつ死を迎えるのかわからないということを改めて感じ、どの様な死をどの様な場所で迎えたいか話し合っておかなければならないと感じた。
- ④⑰ ”人生会議”について講演して頂いたが、個人を尊重してどうしていくかの選択をしていくことは難しいことなんだと感じた。
- ④⑱ 自分自身、他人事のように考えてしまっていたが、いつどのような状況になるかわからないので関心をもった今がとも考えました。

## 5、「人生会議」を実施してみたいと思いましたか。



「人生会議」を実施するうえで必要なことは何だと思えますか。

- ① 丁寧に、何度でも、強制しない
- ② 患者さんにとって何が最善策なのかを、よく多くの方と話し合う事が大事だと思いました。
- ③ 一度だけではなく、何回も行う。思いは変わる。
- ④ 自分の思いや家族の思いを話し合っておく。最期をどこでどのように過ごしたいか。
- ⑤ とてもいい講演でした。今後の業務に生かしていきたい。
- ⑥ まだわからない。

- ⑦ 繰り返し話し合いと意志確認。
- ⑧ 良好な関係、おだやかな時間。先のこと、死のことについて普段から考えること。
- ⑨ 本人の本人の意志決定
- ⑩ その方との距離感、他人でも親族でもその方との距離感がちかかったら人生会議はスムーズに行え、信頼がなければできないかな。実際、現在行っています。終末期ではないですが身内がいらない方を対象に実務しています。
- ⑪ 本人事前の意向確認。
- ⑫ 段階を追ってくり返し。また、病気のことによく知識を持ち、社会資源についての情報をもつこと。
- ⑬ やはり、何回も話し合うことかと思います。本気で人生の最後を考えることも必要と思います
- ⑭ その方の(本人の)意思を一番に尊重すること。思いを言えるうちに話し合っていること。
- ⑮ まずエンディングノートから
- ⑯ タイミングと切りだし方。聞く態度の話のすすめ方。
- ⑰ 患者の決定権の尊重
- ⑱ 様々な人との会話、話し合いが必要と思います。
- ⑲ 本人との関係の構築、本人の意向。
- ⑳ 家族で良く、これからのことを話しておく、私の父が肺がんで病院で最期を迎えたんですが延命治療をして本人もくるしんで亡くなりました。それをみてきたので、話し合いは必要なことと思いました。
- ㉑ 地域に密着した医療介護系サービス等、終末期の対応時には必要になると考えます。
- ㉒ 気軽に話せる場を設ける事。
- ㉓ 知識と周囲の認識。
- ㉔ Fa等との話し合い。
- ㉕ 本人と家族の意志が限りなく同調し相方にとって一番納得いく形で終末期を迎えられる様に、時には何度も話し合う事。
- ㉖ 本人、家族の想いをきくこと。(一回だけでなく何度も)
- ㉗ 本人、家族の意志の確認と尊重ともしもの時の考えどうするのかを話し合うこと。くり返しの話し合い。
- ㉘ 相手の感情をおもんばかること。会話の導入。
- ㉙ 本人の意志を、しっかり理解しておくこと。
- ㉚ 信頼関係、情報提供、信頼できる人々。
- ㉛ 家族との話し合い。
- ㉜ 自身についてであれば夫婦、子供たちと皆でゆっくりじっくり話しを聞いてもらいたい。
- ㉝ 多職種と協働で本人の意思を第一に尊重しなければならないと思いました。
- ㉞ 患者さんの気持ちの変化は常にあると思うので、それに対応するスタッフが常に患者家族の事を理解している事が大事だと思った。
- ㉟ 信頼関係
- ㊱ 相手の気持ちを受け入れる。自分の意志も家族に伝えていく事が必要だと思います。
- ㊲ 信頼できる家族、医療従事者がいること、人生会議について理解している人がいること。人生を大切に思う人。
- ㊳ 本人の思いが重要。
- ㊴ 自分の考えをキーパーソンに伝えておくこと。

- ④⑩ 何度もくり返すことが大切では。
- ④⑪ 家族のコミュニケーションが必要だと思いました。
- ④⑫ 具体的な方法や治療等の選択肢を知っておくこと。
- ④⑬ お互いがお互いを本当に思いやること。
- ④⑭ いきなりはじめない。今一度自分の思いをノートい少しずつ書いてみる。

## 6、本日の感想やご意見をご自由にお書きください。(今後受けた研修内容など)

- ① 自分の意見をしっかり持つ
- ② 人、それぞれ、考え方が違う。在宅看取りを希望されてケアをしても、介護者の介護負担で入院ということが、最近何例もあり、何度も人生会議の必要性を感じていました。今日はありがとうございました。
- ③ 今後、自分だったらどうするのか？家族だったら？利用者様だったら？考えていくのによいお話しでした。
- ④ 主な死因における治療や介護の話、考え、準備しておくことなどを学びたいです。
- ⑤ 満岡先生のような先生のおられる病院なら終の場所を選びたいと思いました。
- ⑥ デイサービスやサ高住のある事業所として、今後ACPをどのようにとらえていくべきか考えたいと思います。
- ⑦ ありがとうございました。
- ⑧ とても参考になりました。
- ⑨ 今、緩和ケアの患者さんを担当していて、今回のセミナーを受けて、患者さんにとって一番大切なことは何かなど考える機会となりました。ありがとうございました。
- ⑩ 自分もいつかはと言うことをつくづく思いしらされた話しでした。良かった。
- ⑪ ACP(人生会議)介護に携わっていながら今回初めてその言葉と意味を知りました。もっと勉強をしなければいけないと本当に反省しました。
- ⑫ もしもの時の延命処置をどこまでするか。よく考える時間になりました。
- ⑬ 高齢社会の中で自身の意向を示しておくことはこれから先、皆が理解しACPを行う事の必要性を感じなければならぬと感じました。とても難しいことでもありますが。
- ⑭ 例題なども多く話して下さり、とても分かりやすく聞くことが出来た。在宅での家族の方との関係がスムーズになりそうな気がします。
- ⑮ 在宅での看取りについて。
- ⑯ とても参考になりました。